

令和3年度の取り組み

2021

こんにちは！
大矢谷白山神社にきています。
この奥には経ヶ岳火山の岩屑
なだれによって運ばれてきた
高さ約23mの巨大な岩塊が
あります・・・

スマホで
撮影して
カメラマン
さん



「ちゃんと写っているかな～」
大岩までの距離を見せるために
待機するスタッフ



オンラインツアーに挑戦

令和4年1月30日(日) 開催

日本ジオパークネットワーク中部ブロック大会恐竜
渓谷ふくい勝山大会が開催され、勝山市ジオパーク
ガイドの会がオンラインジオツアーを実施しました。
大矢谷白山神社から現地の様子を伝えました。

途中で映像が途切れるアクシデントもありました
が、録画していた映像を流して無事ツアーを終える
ことができました。



「平泉寺の雪は多いね～」
勝山市民交流センターからツアー参加中の会員



現地スタッフの勝山市ジオパークガイドの皆様

勝山市
エコミュージアム
ニュース



1-1 野向町区長会

八反滝案内看板の設置と遊歩道整備

従来からの八反滝の案内看板に加え、国道の反対側にも新たな看板を設置し、石川県側からの通行者にも滝の場所が分かり易くなりました。また区長会で、毎年春と冬期前に案内看板の設置と撤収、遊歩道の草刈りを行っています。

1-2 まちづくり・むろこの会

勝山中部中学生と村岡山整備

8月の村岡山整備に勝山中部中学校の有志5人が参加してくれました。ベンチに防腐剤を塗ったり、雪で紛失していた看板の設置をしてもらいました。中学生にこの活動を知ってもらえる機会となり、今後も継続していきたいです。

1-3 壇ヶ城会

登山道整備及び銀山縦穴口安全柵設置

例年からの登山道整備を、区民の方のお手伝いをいただき登山道の補修・草刈り等を年2回行いました。また、銀山縦穴口落下防止柵を設置し、安全に銀山の縦穴口を見ていただくことが出来るようになりました。秋には、福井市の橘曙覧記念文学館から「橘曙覧史跡めぐり～勝山編」として堀名銀山を見学していただきました。

1-4 遅羽町住民協議会

ハイキングコース保全整備

4月11日に『カタクリまつりとバンビラインハイキング』を開催しました。カタクリの花の群生を楽しみながら、子どもから大人まで参加者みんなでバンビラインの景色やこの土地ならではの自然を満喫しました。

1-5 勝山藩主菩提寺を守る会

勝山藩主菩提寺を守ろう

小笠原様式を今に伝える山門だけをご覧になって帰ってしまわれる方がいらっしゃいます、そこで歴代殿様の廟所までの案内板や参道整備を行いました。皆様、沢町の開善寺にお越しください。そして城下町勝山に思いをはせてみては。ご入会大歓迎です。



2-1 むろこ女性の会 赤とんぼクラブ

勝山の宝「赤とんぼ」をもっと知ろう

赤とんぼが飛ぶ勝山の原風景に興味・関心を持ってもらう事を目的に、園児、小学生、一般の方と共に観察会や体験活動を行いました。小さな頃から赤とんぼを見続けている子供達は確実に成長しており、雌雄の区別がつかないなど観察力が身につけてきていると感じました。

2-2 北谷食産グループ

雑穀講座 きび・あわ 餅つき体験事業

休耕田を活用して栽培した雑穀を使用して餅つきの体験を行いました。子供と大人で35名の参加。臼と杵で参加者がつき上げました。ついた餅と収穫した雑穀はお土産に。きび団子のぜんざいもおいしく頂きました。

2-3 NPO法人 まちづくりのむきの会

気候風土に合った作物収穫体験活動

「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」をはじめとする豊かな自然環境を生かしたまちづくりの一環として、野向町の気候風土に合った作物（主にエゴマ・トウモロコシ）の収穫体験や地域資源（景観作物であるコスモス）の保全活動を通して、作物とジオとの関係を学習しました。そして、活動そのものを発信することで、さらに野向町の良さや素晴らしさを発信し、地元農家との交流を深め、地域貢献と地域の将来について考える活動を行いました。

3-1 NPO法人 せいきコミュニティスポーツクラブ

石がたり 七里壁岸の下・本町(町家)ぶら歩き

勝山の「石がたり」ブランドの醸成・発信のため、勝山でしか体験できないスポーツと文化を融合したノルディックウォークツーリズムで観光地の魅力発信に取り組んでいます。歴史的文化財の説明のみにとらわれず、勝山が誇るハープやチェロ奏者の演奏、タップダンス体験などを組み込んだオリジナルガイドを作成、参加者から好評を得ています。

3-2 谷はやし込み保存会

谷はやし込み行列

「はやし込み行列」は8月15日開催予定でしたが、昨年同様通常開催は困難とのことでミニ行列による伊良神社境内での奉納となりました。カメラマンの方々が多数来られました。役者25名、総勢40名、会員だけの事業実施でした。来年こそ何とか！

【ジオパーク商品化事業】



【ジオパークチャレンジ事業】



4-1 荒土町ふるさとづくり推進協議会

炭焼き

昨年に引き続き3回の炭焼きを実施しました。常連の方のご購入の他、道の駅での販売も好調でした。また、荒土小学校4年生児童が体験学習として原木割りなど行いました。今後とも良質の炭にこだわり汗を流していきます。

5-1 荒土町地域力向上委員会

荒土朝市

目的は収益や利潤ではなくあくまでも出品する者の野菜や加工品作りのやりがい、そして地域の親睦・コミュニケーションを図る事です。また健康づくりや体力づくりの為に季節ごとにイベントや親睦会も開催しております。

5-2 縄文の里料理研究会

雪室米おにぎり弁当

雪室で熟成させた米を使って雪室米おにぎり弁当を作成しました。車の中でも食べやすいようにおにぎりにし、地元の旬の野菜を使った煮物、和え物、漬物などを添えて環境に配慮した容器に入れました。また、雪室米と分かるようにデザインしたシールを貼って道の駅「恐竜溪谷かつやま」で土日のみ販売しました。次回は、令和4年3月から販売します。

5-3 杉の子ふるさと発信隊

平泉寺の魅力発見！杉の子ふるさと発信隊！

ふるさと平泉寺の魅力を多くの方々に広めようと始めた「語り部活動」も2年目に突入！今年は市長様をはじめ、観光客の方々にも案内ができました。来訪者の素敵な思い出作りに貢献できるよう、魅力発信を平泉寺小学校の伝統とすべく、これからも笑顔で取り組んでいきます。

5-4 花菱アチャコを愛する会

「花菱アチャコ」の偉業を称える

花菱アチャコさんは戦前・戦後に活躍した漫才師であり喜劇役者でした。本名は藤木徳郎さん、出身地は勝山市猪野口です。没後50年近くになり知る人が少なくなった現在、改めて知って頂く為に次の会場で写真展を開催しました(勝山市教育会館、勝山市立図書館、勝山サンプラザ、猪野瀬公民館、三国町コミュニティセンター)。更に、しのぶ会の開催と記念誌を発行しました。



5-5 和楽士団～奏～

和楽器演奏 (POP演奏) でYouTube配信と盆踊りへの楽曲提供

市内の有志で和楽器バンド結成。「紅蓮華」を演奏録画し、YouTube配信し「和楽器の町勝山」をPR。市外では名田庄の「里山タンブーロ」にて開演前にスクリーンで映像放映、市内でも総合文化祭時開演前に放映。また、11月に越前大仏紅葉まつり時のハイパー盆踊りの楽曲として提供。

5-6 ちやまアート実行委員会

ちやまアート

勝山市の地域資源として空きテナントを活用したアートイベント「ちやまアート」を開催。市内在住の方とOneArtC (ワンアートシー) がコラボし、デジタルツールを使った新しいアート体験を楽しんで頂きました。

6-1 いのせポーノくらぶ

里芋料理販売

約2年ぶりのネットワークまつり。久しぶりに会員招集。前日より地元にごだわった里芋を修理。ポーノ仕様で味付け。当日販売。お客様の声。いつもの味が戻ってきたねとのうれしい一言。今後も地元で愛されるポーノを目指します。

6-2 むろこ女性の会

防災について考えよう Part②

村岡地区に災害が発生した時は特に女性の視点からの援助をし、互いに助け合おうと、年に2回防災についての活動をしています。一人でも多くの方がAEDを使えるようにと消防署の方から学びました。毎年重ねている活動のひとつです。

6-3 勝山地区まちづくり協議会

子どもたちの灯り「行灯のひかり」

今年の「灯りまつり」は、かつやまっ子応援ネットワークとの共催で、コロナ禍の中、地域の人達の元気になればとの思いから開催をしました。子どもたちのメッセージが灯りで浮かび上がり、地区の人達に届いたことと思います。



6-4 縄文の里料理研究会

古代米で恵方巻作り教室

農遊コンシェルジュ土田未来子さんの協力で11月に縄文ぼたもち、1月に恵方巻作り教室を開催しました。当初から遅羽地区の魅力を発信するために古代米(黒米)を料理に利用、伝承料理をアレンジして「縄文の里」としての特色をだしてきました。参加者の皆さんは、あんこと見分けがつかない黒いぼたもちやピンク色に染まった酢飯に喜んでいました。今後も私たちのイッピンとして提供していきます。



6-5 NPO法人 白山エフエム

恐竜手ぬぐい3種

勝山のお土産品として日本手ぬぐいを作成しました。手ぬぐい作家工房カモさんとの共同制作です。第一弾は、迫力ある恐竜柄の日本手ぬぐいが完成し県立恐竜博物館前「ジオターミナル」のショップで販売しています。第二弾も作成中です。



6-6 勝山市ジオパークガイドの会

村岡山スノーシュー登山

勝山の地名の由来となった村岡山に、2月14日(日)スノーシューで登るツアーを実施しました。市内外から参加があり、頂上まで全員元気に登ることができました。頂上から市内や恐竜博物館を見下ろし非日常な時間を楽しんでいました。



星空観察会

日時：令和3年12月22日(水) 19時から

講師：天文指導員 山岸登美子氏



今年はクマの出没が少なく冬の空を見るのに絶好のチャンスだと思い計画しました。夜晴れて月の出るのができるだけ遅い日を設定しました。

市民交流センターに集合し会議室にて冬の星座オリオン座と、上下左右に広がる一等星を順に探す方法を教えていただきました。冬には12ある一等星のうち7つを見ることができそうです。それがオリオン座の周辺に6つあり、冬のダイヤモンドと呼ばれています。また、それぞれの星座にまつわる神話を教えてもらい、外に移動しました。雲の具合を見ながら空を見上げました。日頃の行いのお陰か、雲の隙間からオリオン座を見つけることができ、その周りの一等星も少し見えてきました。北の方角にカシオペア座も見ることができました。一旦中に入り、福井の星空の映像を見せてもらい、また外に。雲が晴れ星座がくっきりと見えました。飛行機も飛んでいます。大師山の向こうに月が現れ、ぼんやりと明るくなってきました。一番明るい星と言われるシリウスを見ることができ、その後、冬のダイヤモンドも見えました。次回は夏、地面に寝転んで見上げたいと思います。



日本ジオパーク全国大会 島根半島・宍道湖中海大会に参加して

令和3年10月3日(日)～5日(火)

会場となった出雲・松江は学生時代以降、幾度も訪れてきた地ですが、ジオパークに係わるようになってからは行く機会がありませんでした。今回はオンライン開催となり残念でしたがデメリットだけでなくメリットもありました。ジオツアーなどは本来なら同時並行で行われ、一つを選択する必要がありましたが、いろいろなコースを順に楽しむことができました。また、ガイドさんの臨場感あふれる紹介で大変良かったです。次回以降もこの取り組みは行ってほしいと思います。

分科会はZoom形式で行われました。私は「ネットワークの意義・活用(地域内のネットワークづくり)」というテーマの分科会に参加しました。事前アンケートにより参加者が地域住民とのネットワーク活動に取り組むことができているか、地域と連携して取り組みができているかなどを把握したうえでグループトークが進められました。

先進事例として「三笠ジオパーク」では「さあ行こう、一億年時代旅行へ」というキャッチコピーのもと、多様なツーリズムを展開。豪雪でブドウの木が冬の寒さから守ってくれ、特産のワインづくりにつながっている。恐竜化石や豪雪と勝山と重なる面もある。多様なプログラムや場所をジオをスパイスにして繋げていく事、さらにツアー参加者にその繋がりを考え感じてもらうことを心がける。ジオジオしたツーリズムは参加者の広がりがなく、リピーターが少ない。私は地形・地質が今の営みに通じるということを感じてもらえることが重要。ジオを縦糸につなげるストーリーの展開がポイント、難しい説明は避ける。ただ質問されれば応えられる知識は必要と意見させていただきました。その他に「栗駒山麓ジオパーク」「立山黒部ジオパーク」「山陰海岸ジオパーク」の発表、報告があり、熱心な討議が2時間にわたって行われ、種々考えるきっかけとなりました。今後の活動に生かしたいと思います。



10/2(土)「島根半島から満喫ジオツアー！」に交流センターから参加中。出雲大社に神迎の稲佐の浜などをまわりました。現地ガイドの方言まじりの説明は、通訳がいるほどでしたがテロップで解説が入り納得。その土地でしか聞けない方言もツアーを面白くしてくれます。

笠松 誠一

先進地視察(オンライン)

令和3年10月9日(土)



萩ジオパークは、山口県北部に位置し、萩市、阿武町の全域と山口市阿東地域で構成され、大きなカルデラから小さな単成火山*まで過去1億年にわたる多様な火成活動の変遷をたどることができるのが特徴です。(萩ジオパークHPより抜粋)

まず、萩の城下町を散策しました。萩城跡・菊屋横丁(高杉晋作誕生地)・江戸屋横丁(木戸孝允誕生地)などを録画映像でガイドしていただき、萩城下町とかかわりの深い第四紀火山「笠山」の海岸の溶岩露頭を現地からライブ映像で案内していただきました。当日は波が穏やかだったので波打ち際まで見ることができました。かすかな波の音に現地に立っているような不思議な気持ちになりました。

*単成火山とは、富士山の様に同じ火口から何回も噴火して大きな山を作る火山とは異なり、一旦噴火すると再び同じ場所から噴火をしないという性質を持つ火山



参加者の感想

勝山の今を感じる時間(四季折々の食べ物や場所など)や私がおすすめしたい場所。また、滅多に行くことができない、教えられない場所など、勝山に来ている、来たくなるようなオンラインツアーを企画したくなりました。

— * * * —

自宅に居ながらにして萩ジオパークを散策できるのは非常に良かった。(天候に左右されないのもよい)。案内や見せ方がとても良くて、次は実際に訪れてみたいという気持ちにもなりました。

自然環境部会

昨年、一昨年と湧水の調査をしています。本年度は追加、確認調査を行いました。出向いたのが秋だった為、湧き出す水の量は多くはなかったのですが、確認はできました。噴水のように湧き出す箇所は数少ないのですが、それでも田畑を潤し、先人たちが神様を祀って大切にしてきた場所があります。今でも草取り等手入れがしてあり、今後も大事にしていきたいと思っています。

また、桜マップを増刷するにあたり、桜の木の確認に行きました。残念ながら手が増えられ、木が無くなっている所もありました。写真を差し替え、令和4年の桜の時期に間に合うようにしたいと思っています。



勝山市 沢町



村岡町 寺尾 湧き水

桜マップの問合せは、勝山市エコミュージアム協議会事務局まで ☎0779-87-1011



食の部会

食の部会では、雪室米おにぎり弁当の販売に向けて活動しました。

5月福井郷土料理研究家、フードディレクターの佐々木京美氏を講師にお招きし研修会を開催しました。道の駅の数ある弁当の中で自分たちの弁当を手にとっていただくにはどのような工夫が必要か等、色々なアドバイスを頂きました。アドバイスを受け、包装紙など改良し、令和3年7月から土日限定販売することができました。購入した方から「冷めてもおいしいおにぎりだった」「自家製梅干しが美味しかった。」など、いろいろな感想をいただきました。これらのご意見を今後の販売に活かしていきたいと思っています。令和3年度新米も雪室で熟成中です。



4月 お弁当の価格、内容を検討。



エコ素材の弁当箱に決定(左)。次は包装紙のサイズや巻き方の検討。



5月 佐々木京美氏研修会
見本のお弁当を作り、詰め方、見せ方のポイントを学ぶ。



お弁当の中身が見えるように包装紙をシールに変更。



7月 完成！勝山市道の駅「恐竜溪谷かつやま」で販売しました。土日限定販売。